

One for all, All for one

第14号
平成30年11月12日発行

寒さが増し、晩秋から初冬に差し掛かる時期になりました。「子供は風の子」と言いますが、子供たちは寒さに負けず、校庭を駆け抜ける姿が見られています。

さて、「子供の最善の利益」について考えてみたいと思います。「子供の最善の利益」とは、児童の権利に関する条約が国際連合で採択された際の基本原則となった考え方です。具体的には「全ての子供は、大人たちから保護され、世話を受け、関心が向けられ、愛され、信頼のもとで見守られる」といったものであり、裁判所もこれを原則とします。しかし、「原則だから子供を守る」という保護者の方はいないと思います。初めてお子さんと出会った感動を大切に、その笑顔を守るため、無償の愛情を注ぎ続けてここまで育ててくださったのだと思います。その大切なお子さんの健全な成長のために、学校も家庭と歩調を合わせ、全力で指導に当たっていきたいと考えています。

【1学年PTAについて】

10月29日（月）に開催された1学年PTAでは、多くの保護者の皆様へご出席いただき、誠にありがとうございました。当日の各担当者からの話では、社会人になるためにどういう高校生活を送ればよいかのポイントが随所に出てきましたので、簡単にご紹介させていただきます。

学年主任から

- ・全体的な前期成績概況については「良好」です。欠席・遅刻・早退も少なく推移しています。
- ・赤点だった科目を有する生徒が学年全体で数名います。全員進級に向けて頑張らせます。
- ・3年間の成績で就職・進学が決定します。今の頑張りが、今後の人生を大きく左右します。
- ・「高校生の本分は勉強」です。落ち着いて勉強に取り組める環境を学年でも整えていきます。

教務部：佐藤先生から

- ・通知票に記載されている前期の評価は、平常点を加味した評価点となっています。
- ・日々の提出物をしっかりと提出するためにも、家庭で机に向かう習慣をつけてください。
- ・学習面などで気がかりなことがあれば、通知票の保護者コメント欄をご活用ください。

進路指導部：阿部先生から

- ・進路決定で一番大切なことは、お子さんと保護者の皆様が進路について話し合うことです。
- ・進路選択では、お互いに意思を確認しながら総合的に検討することになります。
- ・普段からコミュニケーションを図り、全員で協働してゴールを目指していきましょう。

生徒指導部：浅野先生から

- ・就職斡旋には、企業と学校との信頼関係によるところが大きいので、校内基準があります。学校は、決められたこと（校則や社会のルール）を守る子、守れる子を推薦します。
- ・現代の子供たちに一番不足していることは、「大人との会話」です。また、携帯に依存している子供が増えています。是非、ご家庭でも子供たちとの会話を大切にしてください。

【頭髪・服装について】

11月1日（木）に実施された頭髪服装検査での様子や普段の学校生活においては、「頭髪・服装」などが乱れ気味の生徒が若干見られました。そのためか、学年全体の雰囲気も、少し落ち着きがないように見受けられる時があります。いくら中身がしっかりしているからと言っても、人は見た目で判断されてしまうのも事実であります。また、「頭髪・服装の乱れ＝心の乱れ」ともよく言われます。もう一度、入学当初に戻って、指導・声かけをして参りたいと思います。今後ともご家庭での声かけをしていただければ幸いです。

【修学旅行の積立手続き書類について】

10月30日（火）には、子供たちを通じて、2学年に実施予定の「修学旅行の積立手続き書類」を配布させていただきました。旅行費用（90,000円）の口座自動引落（一括引落か分割引落）を希望されるご家庭は、11月25日（日）までに、東武トップツアーズの専用WEB画面上にてお手続きをお願いいたします。お手続きをされる際は、各学科で決められたツアーコードとパスワードが必要となります。学科が違う友達や、保護者の皆様同士でパスワード等を共有してしまうと、他の学科のコースで積立が開始してしまう恐れがございますので、必ず子供たちが持ち帰った資料にあるツアーコードとパスワードをご利用ください。

なお、口座自動引落を希望されないご家庭は、来年度、コンビニエンスストア決済システムをご利用いただき、旅行費用をお振込みいただくことになります。各家庭でご検討いただき、口座自動引落かコンビニ決済のどちらかご都合がよろしい方を選択していただければと思います。

【今後の主な予定（1学年関係）】

- 11月16日（金）計算技術検定
- 25日（日）修学旅行の積立手続き締切日
- 26日（月）後期中間考査（～29日）
- 29日（木）頭髪服装検査
- 30日（金）追考査



【学年主任として思うこと】

今回のテーマは「リソース」です。リソースとは「資源」や「資質」のことで、人の持つ「強み」のことです。誰もが持っていて、課題と思えることも、捉え方次第では強みに変わっていきます。自分自身を肯定的に見つめるリソースを、うまく見つけられる子供にするためには、まずは保護者がお子さんのリソースを見つめ、認めてあげるとよいでしょう。子供たちは自分の持つリソースを自覚した時、自信を持って行動することができるようになったり、自分の悩みに対してリソースを使って自力解決をしたりしようとするでしょう。

【関わりのポイント】

「何が好き？」「何が得意？」「何に夢中になっている？」「誰と友達？」「尊敬している人は？」「懂れていることは何？」「頑張っていることは？」…。これらの質問から引き出される答えは、すべてリソースになります。

※ 後期中間考査まで1ヶ月を切りました。家庭で過ごす時間も有意義にお過ごしください。